

小江戸川越

おもてなし

元禄七年川越圖

川越町守松郷  
舊戸長下川壹齋門所作之寫

大正五年十一月三芳野神社方藏原圖  
支拂田久所莊天神無起附

対談

変容するインバウンド  
私たちが伝えていきたい  
「本物の川越」とは

子供から大人まで楽しめる！  
川越の体験スポット



じき  
時  
薰るまち 川越

小江戸川越観光協会

# 川越いもみくじ

二〇二三年十二月一日より、川越氷川神社で「川越いもみくじ」の颁布が始まりました。手作りで作られたさつまいもの張子は、一つとして同じ形がありません。運勢判断のおみくじはもちろん、番外編としていただけの短冊には、川越とさつまいもの関わり、さつまいもの品種、そして「ラッキーのもアイテム」など、「いも知識」が記されています。



## 川越ならでは！さつまいもの魅力と 地域振興の想いに溢れるかわいいおみくじ



おみくじをひくときの道具も  
選べる  
さつまいものちなんだ番外編の  
短冊は社務所前でいただける

大切な思いを形にできたことに、大きな喜びを感じています」と語るのは、この取り組みをサポートしたサツマイモさんが資料館の館長・山田英次氏。またさつまいもの張子制作に携わる障害者自立支援施設いもの子作業所の大畠施設長も、「ミルクパックを使った紙漉きの技術を使い、重度の障害を持つ仲間たちが制作工程で自分たちの力を発揮できる。作業場でも活気が出て、楽しく日々を過ごしています」と喜びを語っています。



手のひらサイズのさつまいもの張子は  
バッグなどにつけてもかわいい



## 新年を迎えて

小江戸川越観光協会 会長  
松山潤(料亭山屋 代表取締役)

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、日頃より当協会に対しのご理解、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、市制施行百周年から一年が経ち、新たな百年に向けて川越は動き始めました。

今年は、まつり会館がリニューアルされ、りそな銀行川越支店跡が「りそなコエドテラス」として、旧川越織物市場は川越市文化創造インキュベーション施設として再生されます。コロナ禍を完全には脱したとは言えませんが、昨年は猛暑の夏は足踏みしたとはい、インバウンドを含め、多くの観光客の方が戻り始めていました。本当に苦しい三年間を乗り越え

てきたからこそ今の今に感謝したいと思います。

観光協会では、InstagramやFacebookなどのSNSを使って、会員の皆様他から頂いた情報をスタッフが毎日アップさせて頂いております。次々にアップされる記事は目まぐるしいのですが、アーカイブをみれば、正に「川越の今」がわかると自負しております。また、昨年、晩夏に伊佐沼で行われた「小江戸夕涼み会」、秋の「KAWAGOE REMIX」では、音楽ライブと食で川越の夜を彩り、

皆様からご好評を頂きました。私が二〇二三年の観光協会総会で、  
「色あせないまち、川越」を目指していきたいとお話をさせていただきまし  
た。何回來ても新たな発見がある、

一つのジャンルではなく、様々な引き出しを持てるように、会員の皆様のご協力のもと、観光に携わる諸団体と連携も図りながら、これからも新たな施策をもつて観光振興に尽力していきたいと考えております。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

koedo-kawagoe  
OMOTENASHI  
2024.WINTER

## Contents

- 01 新年を迎えて
- 02 対談 変容するインバウンド 私たちが伝えたい「本物の川越」とは  
京野弘一×浦澤修
- 07 ABOUT DMO 一般社団法人DMO川越の活動内容
- 08 子どもから大人まで楽しめる！川越の体験スポット
- 10 川越を知る file.4 山王塚古墳
- 13 新入会員紹介



サツマイモ  
まんが資料館



社会福祉法人皆の郷  
川越いもの子作業所

# 変容するインバウンド

私たちが伝えていきたい

「本物の川越」とは



京野弘一

一般社団法人 DMO 川越  
理事長

浦澤修

株式会社オージャパン  
代表取締役社長



いにしえの江戸・東京の  
風景が残るまち



出典：広重『名所江戸百景 日本橋通一丁  
目略図』、魚栄、安政5。国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp/pid/1312279> (参照 2023-11-26)



出典：広重『名所江戸百景 馬喰町初音の  
馬場』、魚栄、安政4。国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp/pid/1312242> (参照 2023-11-26)

「名所江戸百景」は、歌川広重(初代)が安政三(一八五六)年から五(一八五八)年にかけて制作した錦絵。120枚からなるこの作品集は、春夏秋冬の季節に分けられ、当時有名だった江戸や近郊の名所や景観の優れた場所などの風景に、行事や人々の暮らしを重ねている。日本橋を描いた画(上)には川越に今も残る黒漆喰の蔵が、そして馬喰町を描いた画では、川越の名所「時の鐘」に似た建造物が描かれている。

「観光地」としての川越から発信していくコンテンツは、また新たな変容を遂げようとしているのではないか。今回の特集では、一般社団法人 DMO 川越の理事長・京野氏と、全国の自治体でインバウンド事業を手掛ける浦澤氏に、これから海外からの来訪者に伝えていきたい「本物の川越」についてお話を伺った。

新型コロナウイルスによる影響が

緩和された昨今、国内だけでなく海外から多くの観光客がまた川越に訪れるようになった。さまざまな国からくる観光客は、川越に何を求めてやってくるのか。グルメやアクティビティ、その土地の文化や歴史への知的欲求——あるいは、私たちにとっては日常でもある「日本的な暮らし」への興味。



浦澤修 Urasawa Osamu

昭和48年(1973年)生 埼玉県草加市出身。  
青山学院大学第二英米文学科卒。宿泊施設・観光の  
ウェブマーケティングを専門とする株式会社オージ  
ヤパン代表取締役社長。2004年から約20年インバ  
ウンドビジネスに従事。一般社団法人インバウンド  
デジタルマーケティング協議会(2024年から観光立  
国プラットフォームに名称変更)専属ウェブ担当。

## 外国人観光客が戻る今 観光地川越のあり方を考える

——コロナ禍を経て川越の外国人観光客の状況はいかがでしょうか？

京野 街を歩いていると外国人観光客がだいぶ戻ってきているなと感じます。データでは、2019年は外国人観光客は31万3000人、その後コロナ禍で9割減になりましたが、

今年は2019年を上回るペースで訪れていただけるのではないかと見込んでいます。

浦澤 川越まつりを見に来る方にもプロモーションができるといいますよね。

京野 お祭りは川越が一番大事にしている一大行事ですし、観光コンテンツにもなり得ると考えています。

浦澤 見どころはたくさんあるので、例え

た城下町ですから、そうした普段の生活を楽しんでくれるような方って富裕層の方ではないかもしれない。でも川越に来て街の人と触れ合ったことによってまたリピートしてくれるように仕組みが何かできないかと考えているところです。

## 川越のまちづくりにおけるDMOの役割とはなにか

——DMOでは小江戸川越観光協会や川越市の観光課とどのような連携を考えていますか？ 具体的にお聞かせください。

京野 観光協会や川越市とは強く結ばれていてお互い頼りにしています。

DMOはイベントを企画し収益をあげるためのコンテンツを考えるところではなく、市や観光協会、NPOや商工会議所などまちづくりを考えているいろんな団体を集め、川越を今後こうしていこうという合意を取る、いわば司令塔となるところです。そのためにDMOが集積した様々なデータを元にして策

めとする多くの団体がイベントをやめとります。川越は観光協会をはじ

るのがとても上手です。人も集まるし、内容の質も高い。その中で、DMOに行けば皆が知りたいデータがあると思つていただけるよう、例えば人流、性別、年齢、国別の人数、交通手段など、さまざまな情報が集まるプラットフォームのようなものであるべきだと考えています。

浦澤 データは非常に重要ですね。現在どういった形で取っているんですか？

京野 携帯電話に入っているアプリを通して、通過した人がわかる人流データを取っています。交通や宿泊などのデータが集まれば、イベントの対策も立てやすいですし、ターゲットを絞ることができます。まだ課題は多いのですが、まずデータを集めて正しく分析をし、それを根底立つものにしなければならないと思っています。

浦澤 兵庫県豊岡市の城崎温泉が有名な事例です。ここはWi-Fiでデータを取っています。2016年6月にDMOを立ち上げ、2011年の外国人宿泊数は1100人ほどだったのが、2017年に5万人くらいになりました。6年間で45倍に急増したのを売りにしています。

京野 京野さんがおっしゃるように、データは何かをやる上での裏付けになつていくので、必ず必要になつてくると思います。ただ漠然とではなく、どこにターゲットを絞るのか、きちんと意図を持つてデータを取つていく。そして次はこう動きましょうと進化をしていかないと、10年後変わった地点には行けないと思つていま

京野さんとお話しするように、データは何かをやる上での裏付けになつていくので、必ず必要になつてくると思います。ただ漠然とではなく、どこにターゲットを絞るのか、きちんと意図を持つてデータを取つていく。そして次はこう動きましょうと進化をしていかないと、10年後変わった地点には行けないと思つていま

ば棧敷などを作つて店蔵の2階から山車を見られるようにするとか、祭りの歴史的な背景も勉強していただいた上で一緒に祭りを盛り上げて、いくような体験も考えたいんですが、コンテンツは豊富だと思います。コンテツトは豊富だと思ひます。問題になつていて、どう解決するかということで国が動き始めていますね。川越も少しオーバーリズムになりかけているのではないか？

京野 一部ではそういう傾向はあります。特にゴミ問題と、交通事故の懸念、ある一定の店舗にだけ人が集中しているなど色々あります。実証実験や川越のやり方でオーバーリズムを緩和することができればと思つています。

浦澤 鎌倉も大変なことになつていて、商店街は観光客が多くて歩けないし江ノ電はぎゅうぎゅうです。

京野 地元の人たちが生活ができない江戸時代からの生活を今も続けていきるのは問題ですね。

浦澤 住民からクレームがきてしまふと、街で観光を盛り上げていこうださい。

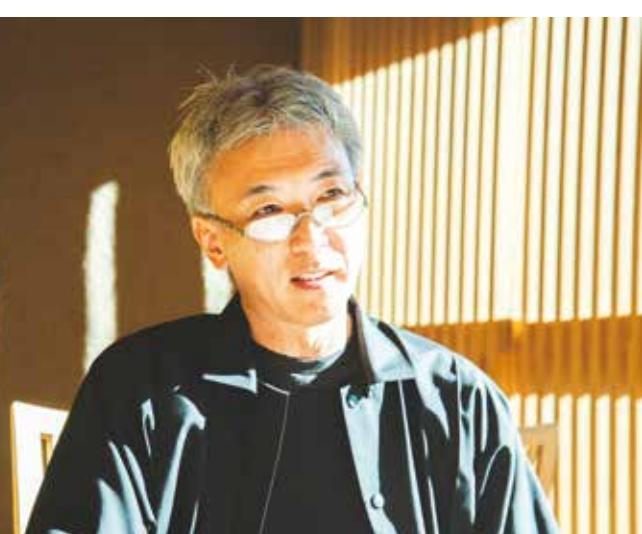
京野さんとお話しするように、データは何かをやる上での裏付けになつていくので、必ず必要になつてくると思います。ただ漠然とではなく、どこにターゲットを絞るのか、きちんと意図を持つてデータを取つていく。そして次はこう動きましょうと進化をしていかないと、10年後変わった地点には行けないと思つていま

う空気にはならなくなつてしまひます。また、僕は20年くらいインバウンドに携わっていますが、外国人を呼び込もうと言うとほぼ反対されるんです。ですからやはり市民の協力がないと絶対に成功しないと思つています。

最近インバウンドの成功とは何か？ をよく考えます。お金を落としてくれる人を多く取ることがインバウンドの成功のようない傾向になつてきていますが、僕が考える成功というのは、地域の人たちが外国人と交流したことによって、人生に少し潤いが出たとか、海外の人と触れ合えてよかつたなという思いになる。そなならなければインバウンドの成功とは言えないと思つています。

——川越のインバウンドについて今後どこへ向かっていくのか、その辺りはどうお考えですか？

京野 皆で話し合い、合意形成しながら進めていくのがDMOの役割ではないかと思います。川越には江戸時代からの生活を今も続けていけるところがある、という点が魅力だと考えています。町民文化が榮え



京野弘一 Kyono Koichi

昭和44年(1969年)生 川越市出身。  
多摩美術大学大学院修了。株式会社 第一建築設計事務所 代表取締役。多摩美術大学 環境デザイン学科非常勤講師。一般社団法人 DMO川越 理事長。



## 親子で楽しめる和菓子作りにチャレンジ

子どもから大人まで一緒に和菓子作り体験ができる老舗和菓子屋「龜屋」の新ブランドである和菓子「kashichi」。こちらのお店は和菓子を若い人にも親しんでもらいたいとの思いからオープンしました。和菓子作り体験では職人さんから教わりながら季節の練りきり菓子2品を作ることができます。子どもはもちろん大人もつい夢中に。体験は1人2,200円、所要時間は約30分。事前予約制で土日祝日のみの開催です。



川越市幸町1-13  
049-228-3320  
営業時間 11:00~17:00  
(土日祝10:00~17:00)  
定休日 不定休  
[https://www.instagram.com/kashichi\\_kawagoe/](https://www.instagram.com/kashichi_kawagoe/)

kashichi

## 土の感触を楽しみながらオリジナルの器作り



川越市幸町7-1  
049-222-0989  
営業時間 10:00~18:00  
定休日 不定休(令和6年1月より水曜定休)  
<https://www.touho-yamawa.co.jp/>



老舗陶器店「陶舗やまわ」の奥の蔵にある「やまわ蔵部(やまわくらぶ)」は陶芸体験ができる陶芸教室。初めての方でも気軽に参加できる「おためし体験」(手びねり、電動ろくろから選択できます)「絵付け体験」や、午前・午後1日かけて陶芸に没頭できる1日陶芸教室のほか、本格的に陶芸を楽しめる長期陶芸教室も行っています。おためし体験は所要時間は1時間程度。自分だけのオリジナル作品を作ってみてはいかがですか。

陶舗やまわ

百足屋

## 活版と和綴の魅力に触れるワークショップ

文星舎

1924年創業の株式会社櫻井印刷所が運営する「文星舎」。水上製本所とのコラボで、活版＆和綴体験ワークショップを行っています。体験教室では、活版印刷機で印刷するおしゃりと和綴ノートを作ります。おしゃりに文星舎のロゴを転写する活版印刷を体験したり、束ねた和紙に穴を開けて糸でくるくる和綴じの方法で本を作ったりと、他ではできない本作りの体験にワクワクが止まりません。専用サイトにて予約受付中です。



川越市元町2-4-5  
049-222-0935  
定休日 不定休  
詳しく述べはInstagramをご確認ください。  
[https://www.instagram.com/bunseisha\\_1924/](https://www.instagram.com/bunseisha_1924/)

## 鮮やかな色彩が素敵伝統工芸の絵付け体験

染色工房  
稻木



川越市仲町9-10  
090-5525-3399  
営業時間 10:30~16:30(染色体験の受付時間)  
定休日 不定休  
<http://inaki.jp/index.html>



日本工芸会所属の友禅きもの作家の工房。伝統工芸の技術を活かし、型友禅体験や藍染め体験、草木染め体験などさまざまな体験ができます。ワークショップは初心者でも気軽に染色のものづくりを楽しめます。小さい子どもでも挑戦できるのが、型紙を使った絵付け体験。バッグや巾着、Tシャツ、トートバッグなど数種類のメニューから選び、型紙の中から好みを選んで絵付けをします。料金は大人1870円~、子供1320円~になります。

# 子どもから大人まで楽しめる！ 川越の体験スポット

川越にはさまざまな体験施設があります。初めての方でも気軽に参加できるおすすめの体験スポットをご紹介します。

## 趣ある蔵造りの室内で和の文化を体感

百足屋



川越市松江町2丁目5-11  
049-292-0075  
営業時間 12:00~17:00  
定休日 水曜日  
<https://mucadeya.com/>



築380年の「田口家住宅」を再生・利活用した文化体験施設&古民家カフェ。町屋の風情感じる空間で茶道や書道、日本舞踊などの伝統文化体験することができます(要予約)。外国人や若い世代の観光客に人気を集めているのが、1階のカフェで楽しめる抹茶体験。「自分で点てる河越抹茶と季節の上生菓子のセット」は自分で点てる抹茶を味わえるメニュー。気軽に茶道体験ができると人気です。女性に嬉しいレンタル着物も行っています。

## 埼玉県の銘酒を飲み比べしてみよう！

小江戸蔵里



川越市新富町1-10-1  
049-229-6110  
営業時間 11:00~19:00  
定休日 なし(臨時休館日あり)  
<https://www.machikawa.co.jp/>

明治8年創業の旧鏡山酒造の建築物を改修し、新たに誕生した川越市の産業観光館。館内では川越の特産品の購入や食事が楽しめるほか、利き酒体験ができる施設「ききざけ処昭和蔵」も。日本酒生産量全国第4位の埼玉県内全蔵の日本酒(32蔵)がそろっており、有料試飲機「のみくらべマシン」にて利き酒を楽しむことができます。施設内にはお酒の魅力を引き立てるおつまみコーナーもあり。お気に入りの日本酒を見つけてみては？

## 川越観光にもってこい！人力車でまちを散策

川越人力車  
いつき屋



川越市喜多町2-1 喜多町弁天長屋7号  
080-1086-0088  
営業時間 9:30~17:30(季節によって変動あり)  
定休日 不定休  
<https://www.jinrikisha-itsukiya.com/>



川越観光に便利な人力車の店。着物で町を観光したい方、より深く川越を知りたいという方におすすめです。見どころが詰まつた一番街周辺だけでなく、少し離れたお寺を巡るなど、知る人ぞ知る地元の隠れたスポットに案内してもらえるところが魅力。人力車に乗りながら優雅に川越観光を楽しんでみませんか。モデルコースと、人数、区間、時間別の料金表があるので、利用するシチュエーションに合わせてHPからお申し込みを。

川越市内にある歴史的建造物や人物、スポットなどを取り上げる連載「川越を知る」。今回は豊田町にある国指定史跡「山王塚古墳」を紹介いたします。

## 山王塚古墳



閑静な住宅地の中に突如現れる小高い丘。

この緑に覆われた小山が山王塚古墳です。

7世紀後半に造られた上円下方墳で、

小規模な方墳や円墳などに

シフトしていった古墳時代終末期の

墳形としては、最大級の大きさを誇ります。

近年の発掘調査によりその歴史的価値を

認められ、令和5年3月20日に国の史跡に

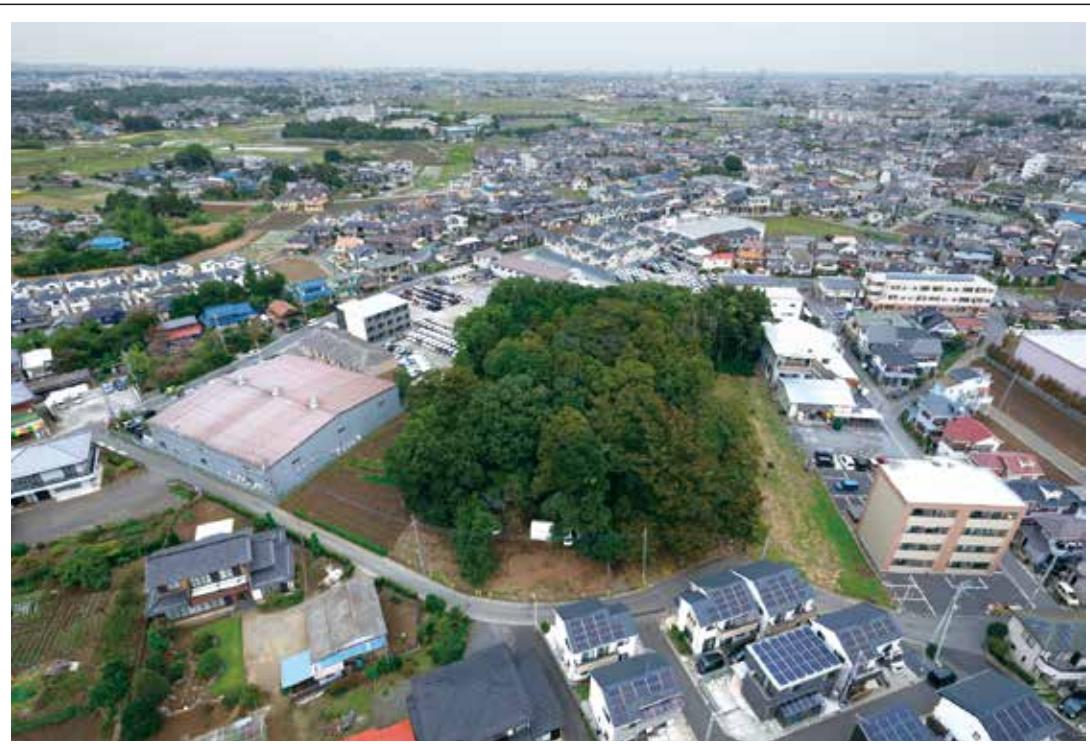
指定されました。

墳丘頂に登れば、より身近に

古墳の存在を感じることができます。

ぐるりと散策しながらはるか遠い時代へ

思いを馳せてみてはいかがですか？



### 日本の古代史を読み解く 大きな手がかりに 国指定史跡 山王塚古墳

歴史的・学術的価値を有する史跡といえる。

上円下方墳は、四角い台(下方部)の上に半球状の盛土(上円部)を積み上げた形をしている。これは古代中国思想の世界観である「天円地方」(天は円く、地は方形)を具現化したものと考えられる。規模は上円部直径37m、下方部一辺69m、墳丘盛土の高さ5m、周溝外縁一辺90m。川越市教育委員会では平成24年度より山王塚古墳の史跡内容確認のための発掘調査を実施した。地中レーダー探査によって古墳内部の埋葬施設が明らかとなり、主体部は全長15m、ハの字状の前室部(全長6m)と玄室と前室を持つ複室構造の横穴式石室(全長9m)で構成されている。これは飛鳥時代、武藏地域の有力首長基(武藏府中熊野神社古墳など)に採用されたものと同じ型である。また羨道と前庭の一部が発掘された。また羨道と前庭の一部が発掘された。羨道の側壁石材は遠隔地から運搬した角閃石安山岩と緑泥片岩、床は拳大の礫を敷いていた。埴輪は持たず、須恵器の平瓶とフラスコ形長頸瓶、ガラス小玉および石室内にあ



山王社への参道は周囲よりも高くなっており古墳の出入り口だったと思われる。この出入り口が後の山王社への参道に引き継がれている。

入間川の右岸に面する武藏野台地の端部に位置するのが、南大塚古墳群のひとつである山王塚古墳。7世紀(飛鳥時代)の第3四半期(西暦651-674年)に造られた日本最大の上円下方墳である。17万基を超えるといわれる古墳の中では、古墳発掘調査でこの墳形が確認された事例は全国に6例しかなく、極めて希少な古墳であることから令和5年3月20日に国の史跡に指定された。これまでの発掘調査により、被葬者の東国における立ち位置をはじめとするさまざまな情報を読み取ることができ、日本古代史を読み解くうえで



## 新入会員紹介

### 萩原商店



川越市元町1-8-6裏手キッチンカー  
050-7110-3144  
営業時間 10:30~16:00頃  
定休日 不定休  
[https://www.instagram.com/hagiwara\\_shoten/](https://www.instagram.com/hagiwara_shoten/)

今年4月のオープン以来注目を集めているキッチンカー。「実家である萩原製麺の麺を使って何か話題になる商品を作りましたか?」という店主萩原さん。その狙い通り、ワンハンドで手軽に食べられる



川越市三久保町1-14  
049-214-1617  
営業時間 カフェは平日11:00~16:00  
(土日は11:00~17:00)  
定休日 水曜日  
<https://chabudai-kawagoe.com/>

### 川越唐桟手織りの会



川越市郭町2-30-1(市立博物館内)  
049-222-5399  
機織り体験(ほぼ毎週木・日曜日  
10:00~15:00)(博物館の開館日に準ずる)  
※博物館は12/4~3/15まで工事のため臨時休館  
[https://www.instagram.com/kawagoe\\_touzan\\_teorinokai](https://www.instagram.com/kawagoe_touzan_teorinokai)

「川越唐桟」の手織りの会。毎週木曜日の10時~15時で市立博物館にて活動しています。会員以外の方でも予約不要で参加できる機織体験も行っており、リビングで手織り体験を行っています。「難しそうだと思ったら、ぜひお声がけください!」



川越市連雀町13-4  
049-236-3883  
営業時間 11:00~18:00  
定休日 火~金曜日  
<https://www.instagram.com/1901kawagoe/>

会員名	所在地	TEL
鬼蒸し饅 和風鈴	川越市新富町 2-30-6	049-222-4337
いろはにはっ。	川越市松江町 1-5-1 ルネスプレミール 1F	080-3414-9068
as-is 合同会社 (as-is)	川越市元町 1-8-33 藤田ビル 1F	070-8972-6079
銀時	川越市仲町 10-8	049-298-7732
合同会社唐木木工	川越市幸町 14-3	-
川越市グリーンツーリズム拠点施設	川越市伊佐沼 887	080-7069-8695
fase by epsilon..	川越市宮元町 2-9	-
一般社団法人さまちか	比企郡川島町大字下八ヶ林 923 コミュニティセンター 2F	049-298-3377
うな昭	川越市元町 1-14-3	049-210-9791
小江戸温泉 KASHIBA	川越市松郷 1313-1	049-277-4126
(有) 阿難企画	川越市問屋町 3-2	049-222-5601
デザイン	川越市連雀町 10-3 (やきいも自販機)	-
(株) いつ和	川越市新富町 1-22 西武本川越ペペ 3階	049-236-3528
パーク24 (株)	東京都品川区西五反田 2-20-4 パーク24Grp 本社ビル 5F	03-6747-8144
(株) ラクロ	川越市大中居 95-3	049-293-7474
pomegraph	-	090-9317-5231
HALOA COFFEE TAROTARO	-	090-2445-3352
IRUMA Ninja CAFÉ	-	-
川越チーズケーキ	川越市幸町 1-3	049-227-3911

※「-」は観光協会にお問い合わせ下さい。

つたと思われる木棺に使用した鉄釘片も出土した。山王塚古墳の時代は日本が律令国家へと歩み始め、地域支配形態が前代の古墳時代とは全く異なる地方行政組織に変貌する時代である。山王塚古墳の規模と墳形から、被葬者は古代入間郡域における極重要な地位の人物と推定される。

また墳丘下に、先行する時期の古墳が存在することも明らかとなつた。墳丘下の古墳は周溝をロームブロックで丁寧に埋めており、その上に山王塚古墳の下方部が築かれていた。規模を大きく見せるため周囲に幅広の周溝を巡らし、下方部の外縁に土手状の盛土を築いていることも判明している。こうした、4次にわたる発掘調査の成果は『山王塚古墳総

括報告書』にまとめられている。今なお多くの古墳ファンが訪れる山王塚古墳。墳丘頂に登ることもでき、墳丘頂には山王信仰に基づいた山王社が鎮座し、狛犬ならぬ神猿(山王信仰では猿が神使といわれる)が祠をお守りしている。山王塚古墳の西隣には山王塚西古墳があり、こちらは7世紀前葉に築造された直径43mの円墳である。かつては墳丘が残っていたが、大正時代の開墾で削平された。平成4年の調査では勾玉や鉄剣、甕などが出土した(川越市指定文化財)。

※周辺は住宅地ですので、見学の際はご配慮願います。また周辺に駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください



## 古墳巡りが楽しくなる 山王塚古墳の御墳印が誕生

「御墳印」とは、神社や寺を訪れた際にもらえる御朱印の古墳版で、古墳を訪問した際の記念印のこと。各古墳の指定販売先で料金を支払うと各古墳オリジナルの「御墳印」がもらえます。古墳をこよなく愛する「古墳ガール」といわれる女性も増えている昨今、古墳を見るだけではなく、集める、巡るという新しい楽しみ方は古墳ファンだけにとどまらず注目を集めています。そんな中、令和5年11月より川越市の国指定史跡『山王塚古墳』の御墳印も登場。小江戸川越観光協会事務局、川越まつり会館にて1枚税込300円で頒布しています。



Column

# 小江戸川越春まつり

令和6年3月24日(日)～4月21日(日)

今年も川越の春を満喫しよう！ 今年度の春まつりは上記の日程で行われます。また、同期間中、さまざまな団体のイベントなども行われます。オープニングイベントでは、市内各所で鉄砲隊演武・鳶組合はしご乗り・消防音楽隊・小江戸茶屋など、見どころ満載です。

オープニングイベント：令和6年3月24日(日)10:00～16:00  
会場：蓮馨寺や一番街、仲町交差点周辺、大正浪漫夢通り他

※札の辻交差点から連雀町交差点までとその周辺は交通規制となります。ご注意ください。

※各種のイベントなどは、予告なく変更・中止になる場合がございます。

共催：小江戸川越観光事業実行委員会(小江戸川越観光協会内)

(公社)小江戸川越観光協会

後援：川越市・川越商工会議所・小江戸川越観光推進協議会



このページは広告が入っておりました

## 小江戸川越春の舟遊

開催計画

氷川神社裏の新河岸川で、川面から桜を楽しむ  
「小江戸川越春の舟遊」。約10分間、乗船できます。

開催日：令和6年3月23日(日) 11時～15時  
(小江戸川越春まつり3/24～4/21のプレイベントとして開催)  
※ライフケットを着用出来ない方や泥酔者は乗船できません。  
※荒天・増水等の場合は中止となります。

場所：川越氷川神社(川越市宮下町2-11-3)裏の新河岸川河畔  
料金：1,000円(2歳以下は無料。小学生未満は要保護者同伴)  
乗舟券：全国のセブンイレブンで販売予定  
乗舟時間：約10分間(乗り降り含めて、15分間隔で運行)  
共催：小江戸川越観光事業実行委員会／(公社)小江戸川越観光協会  
後援：川越市／川越商工会議所／小江戸川越観光推進協議会



小江戸川越  
おもてなし

令和6年1月30日 発行



発行 公益社団法人 小江戸川越観光協会  
〒350-0056 埼玉県川越市松江町2-1-8

TEL 049-227-9496

印刷 株式会社 櫻井印刷所

本誌は著作権法の保護を受けています。  
内容を無断で転写、複製、転載することは禁じられています。

撮影 中村香奈子 大木賢

デザイン 吉野博之

執筆 鈴木はるか

編集 櫻井理恵

地名に「越」の文字を持つ川越の町。これまで幾多の苦難を乗り越え、より魅力的に発展してきました。  
手元の「証言記録 川越文化史」第二巻(昭和63年刊)には、ちょうど百年前、関東大震災に見舞われた日の様子が多彩な話者により語られています。電車駅の大混乱、札の辻の理容店を襲う悲劇、農家の馬が見せた予知ともいえる不思議な行動。ことに、災害時に脱出しやすい外開きの扉を採用すべきか、お客様が入りやすい内開きを選ぶべきか、というくだりには「住む」目線と「迎える」目線との容易ならざる葛藤を見ました。そして座談の参加者は口々に「この経験を次代の人々に伝えたい」と話を締めくくるのです。

コロナ禍を経て、さまざまな産業がゆっくりと元の活気を取り戻しつつあります。辛苦を越えた先人たちの知恵と、疫禍を通じて得た私たちの経験とを併せ活かし、快適で安全な、いつまでも色あせない川越観光を実現する一助となれたら。

想いも新たに、新年のおもてなし誌をお届けします。

小江戸川越観光協会 副会長(広報担当) 山田禎久